

ア「『目指す子どもの姿』実現に向けた取り組み」

焦点化・重点化する内容	具体策	検証方法
【郷土愛】 ◎地域にふれ合い、つなぐ子ども	地域へ向けた太鼓の発表。	・地域コーディネーターに地域との連絡調整をしてもらい、地域の公民館等で太鼓の発表を行った。
<div>（吹き出し）は、全体協議で口頭で説明があった内容。</div>		
広報の具体策（いつ、どこで、だれた、どのように）		
児童生徒へ	保護者・家庭へ ・教育課程のどの活動で地域の人材を活用できるか、年間の計画を保護者や地域に知らせる。	地域へ ・児童の活動を、地区の回覧版で知らせる。

イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）

校長が特に協議を求める内容	解決策（地域連携や協働活動等）
◎地域人材の活用 ・教員が主体の活動となっているので、異動により教員が変わると同じような活動ができない。地域に人に関わってもらい、西山小学校が取り組んでいる活動を今後支えてもらえる関わりがあるとよい。	・地域の人材発掘、人材バンクの作成 ・地域行事への子どもの参加。 ・地域の人が児童に教える機会を設ける。（学校・地域行事） <div>太鼓の発表に地域の方に大勢来ていただいたがー。</div>
◎学校環境の整備・利活用 ・アートのある学校を目指しているが、校舎内に飾られている写真や絵が古い。地域の方から寄贈されたものも多く、入替に地域の方が関わってくると、環境の整備もしやすい。	・美術館でも作品の入れ替えを個々になっているので、学校でも作品の入れ替えを行い、児童に「観る」意識を持たせる。 ・学校を会場に、イベント（写真展や貸しアトリエ等）を行い、アートに触れる機会をつくる。 ・親子活動の際に、地域の人材を招き、特別教室を実施する。
今後、熟議	<div>学校を地域の方に貸し出して、その中で活動していただく「貸しアトリエ」のような形で、子どもたちが興味を示したり地域とのつながりを深めたり、学校を地域の環境の一つとして使っていただければいいのではないかと。写真展などのイベント会場とするなど、地域の方々にとってのハードルを下げたい。高齢化、少子化が大きな課題。高齢者と子供をつなぐ間の世代の人材確保が課題。人材バンクをつくり、学校とのつながりをつくっていききたい。</div>